

目次

アンチパスバック(APB)ゾーンの設定	1
動画デモ	4

システム構成, BioStar 2, アンチパスバック

アンチパスバック(APB)ゾーンの設定

始める前に、Standard

以上ライセンスの活性化状態を確認してください。ライセンスが活性化すると、下記のように左側のメニューボタンでゾーンメニューが確認できます。



1. ゾーン追加(ADD

ZONE)をクリックした後、アンチパスバック(Anti-passback)を選択し適用をクリックしてください。



2. アンチパスバックゾーン名称を入力します。APB
規則に違反するユーザーを遮断するには、アンチパスバックの種類をハードAPBに設定し、APB解除時間を設定します。次に、入室端末および退室端末を設定してください。



イーサネットベースのゾーンの場合、**モードをグローバル**に設定してください。サーバーがアンチパスバックの決定を行うマスターデバイスになります。

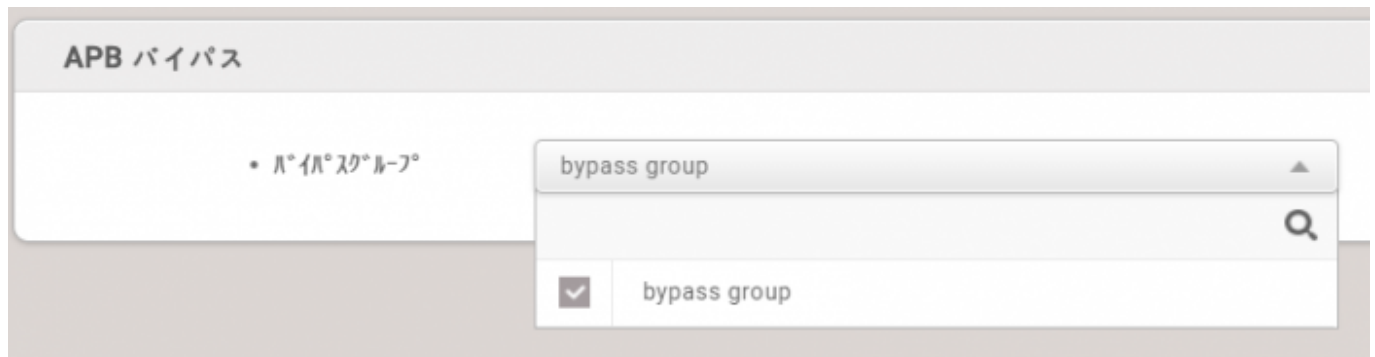
グローバルモード

を選択する場合、ネットワーク失敗アクションを選択するオプションがあります。デバイスがサーバーと通信できない場合、設定されたオプションに基づいて動作します。詳細については、管理者マニュアル（ヘルプメニュー）を参照してください。

3. デバイスの出力信号で、警報を発生させる場合には動作を設定します。



4. APB設定に関係なく、常にアクセスが可能なAPBバイパスグループを設定します。



5. APBルール違反でアラームが発生します。

アクセス拒否 (ハート* APB)

×

• ユーザー

3(APBテスト)

• 端末

BioLite N2 545293876 (192.168.10.45)

• 警報

アクセス拒否 (ハート* APB)

• 日付

2020/10/08 13:49:17

コメント

確認

無視

動画デモ

[apb.mp4](#)

From:
<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:
http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:how_to_configure_apb_zone

Last update: **2021/11/29 15:41**